



発行
西原町役場
〒903-01
西原町字嘉手苅112番地
電話 (09894)-5-4533
印刷
(協) 丸正印刷

町の世帯・人口
(昭和62年7月末現在)
世帯主 7,018世帯
人口 23,874人
男 12,237人
女 11,637人

7月の人口移動
出生 40人 死亡 9人
転入 146人 転出 113人
婚姻 14件 離婚 6件

海邦国体成功に向けて

大会旗・炬火リレーのりハーサル

与那原→西原→中城を引き継ぐ

第42回国民体育大会（海邦国体）の開催にあたり、秋季大会開会式場となる県総合運動公園陸上競技場に掲揚される大会旗及び炬火台の炬火は、広く県内をリレーされ県民の海邦国体成功に向けての一体感を深め、大会意識の高揚を

内をリレーされた。

大会旗及び炬火は、与那原と西原町境で西原高等学校生に引き継がれ、町役場前まで、役場前から車輦により西原高校前へ、西原中学校及び琉大附属中学生により西原中学校前へ、町内三小学生及び琉大附属小学生により町役場前へ、町体育協会バスケットボール部により西原町、中城境までのリレーが行われ、町民への海邦国体実施に向けての意識の高揚と県民あげて「海邦国体」を成功させる決意と参加する喜びをアピールし本番へ自信を深めてリハーサルを無事終了した。



海邦国体の大会旗・炬火(平和の火)リレーが町内を引き継ぐ：8月5日、町役場前

西原町
62年海邦国体
きらめく太陽 ひろがる友情

開催まで
45日

バスケットボール競技
(成年男子)



町老ク連、心に残る“うさぎ人形”450個を贈呈＝8月21日、町役場

“うさぎ人形”450個を贈呈

町老ク婦人部の国体土産品

本町での海邦国体成年男子バスケットボール競技大会の開催まで、二カ月ちよつと。八月二十一日（金）午前、町老人クラブ連合会（呉屋幸夫会長）の国体土産品（うさぎのマスコット人形）の贈呈式が町役場で行われた。贈呈式では、呉屋町老人クラブ連合会長をはじめ、同会喜納婦人部々長以下役員十二名が参加、本町の国体に参加される選手役員に、心に残るプレゼントを送ろうと、婦人部の皆さんが心を込めてつく



町婦人会 450個の国体コサージ（町花ブーゲンビリア）を贈呈＝8月13日、町役場にて

町婦人会国体コサージを贈呈

海邦国体成功に熱い情熱を込め

町婦人会（玉那覇恭子会長）では、去る二月から町花（ブーゲンビリア）による国体コサージづくりを町内各支部の婦人会員の協力で手づくりにより進めていたが、このほど目標の四百五十個の作成を見事に達成した。

八月十三日（金）、午前、玉那覇町婦人会々長をはじめ役員並びに、コサージづくりの指導に当たった新川千代子（町体育指導委員）さんが町役場を訪れ、平安恒政町長（第42回国民体育大会町実行委員会会長）に国体コサージを贈呈した。

贈呈式では、「町内各支部の婦人の海邦国体成功に向けての熱い情熱と期待が込められています。美しい町花、ブーゲンビリアが本町を訪れる選手、役員のかざり、さわやかな気持ちで国体が迎えられるようご活用下さい。」と玉那覇町婦人会会長あいさつ。それを受けて、平安町長は「国体開催まで、あと二カ月余であり、町民あげて、国体成功に向け諸準備を進めている。

婦人会の皆さんの真心こもる町花、ブーゲンビリアのコサージは、本町を訪れる他府県の選手、役員にとって、大変よい記念になることと思います。婦人会の皆さんの心暖まるご協力に対し深く感謝いたします。」とお礼を述べた。



きらめく太陽 ひろがる友情
62年海邦国体

夏季大会 62年9月20日(日)～9月23日(水)(4日間)
秋季大会 62年10月25日(日)～10月30日(金)(6日間)
かりゆし大会 62年11月14日(土)～11月15日(日)(2日間)



きらめく太陽 ひろがる友情 62年海邦国体を成功させよう
西原町は成年男子バスケットボール競技会場です。

資料編二・西原の戦時記録

町史第三卷を発売

『西原町史』第三巻・資料編二西原の戦時記録（以下町史第三巻という）が、このほど発売された。西原町の編纂事業も、本巻の発売をもって二冊目になります。今回発売された町史第三巻には、西原町民の戦争体験記や各字の戦争被災者一覧などが収録され、沖縄戦当時の西原町の様子が克明に記録されている。主な内容は、次のとおり。

「町史第三巻の主な内容」

今回発売された町史第三巻は、『西原町史』全六巻の一つで、主に沖縄戦における西原町の戦時記録関係資料を集めたものである。

本巻は、沖縄戦の様子を町民により深く理解してもらうために、沖縄戦の概要の解説、町民の戦争体験記および学童疎開日記などの付録資料の三部構成となっている。

沖縄戦の概要については、琉球大学の大田昌秀先生が執筆にあたった。たんに沖縄戦だけの記述にとどまらず、沖縄が廃藩置県後から軍事基地化されていく過程をあますところなく克明に解説している。

また、沖縄戦当時の守備軍（旧日本軍）や大本営がどのようにに沖縄作戦をとらえていたか様々な貴重な資料を駆使しながら町民むけにわかりやすく解説している。まとめとして、沖縄戦の本質や教訓を巻末に掲載している。

住民の戦争体験記は、昭和五十七年から五十九年にかけて各字で、沖縄戦および海外や本土での戦争体験の証言をテープに収録し、町史編纂事務局で文章化したものである。証言者には、米軍上陸以前の生活の様子、戦時中の避難や戦關の様子、収容所での生活、西原への帰還などを中心に語ってもらった。その外にも「沖縄戦史」第九巻・沖縄戦記録からも町民の証言記録を転載し、当時西原に駐屯していた石部隊第11大隊の生き残りの将兵らの手記も収録した。

付録資料として、旧西原国民学校の児童らが宮崎県へ学童疎開した様子を克明に記した仲宗根英輝氏の日記や戦時中西原村民が島尻へ避難した資料や「沖縄戦関係年表」などが収録されている。



今回、発売された西原町史第三巻
(資料編2 西原の戦時記録)

大田先生の御協力により、本書に沖縄戦関係写真多数を収録しています。

今一度、沖縄戦とは何であったかを問い直す意味で是非とも町民皆様方に御一読をおすすめします。

本書の御購入は各区事務担任者か直接町企画課（五一四五三）までお申込み下さい。定価二、五〇〇円 A5版一〇一三ページ。



発売によせて

西原町史の編纂事業も、本巻の発売をもって二冊目になります。前回の西原町史第二巻・資料編一文獻資料の出版に引き続き、今回は西原町史第三巻・資料編二・戦時記録をここに発売することができました。

各字での戦争体験聞き取り調査や戦災調査などへの町民の御協力をはじめ、県内外からの多数の戦争体験手記の御寄稿により、このようなりっぱな町史を発刊できましたことを心から感謝申し上げます。

この沖縄戦では、六万四〇〇〇余の将兵と一二万余の住民が戦禍に巻き込まれ犠牲になられました。そして、当時の西原村民の四六・九パーセントにあたる五一〇九人の尊

文化財資料収集に協力を

町教育委員会（稲福恭助教育長）では、文化財保護及び普及の一環として、消滅しつつある町内の有形・無形の文化財を記録保存するとともに本町の文化・歴史を知るための町民の手軽な読本となることを目的に、文化財報告書としての「西原町の文化財概要」を刊行する準備を進めているところであり、町内に町教育委員会では、町内に

就業構造基本調査

10月1日現在で実施

10月1日現在で、就業構造基本調査が実施されます。

この調査は、国や地方公共団体が、皆さんの仕事や生活に関連の深い政策を立てて、推進するのに必要な統計資料を得るために行うものです。

この調査では、ふだん仕事や生活をしている方には、仕事の内容やそれについての意

西原町長 平安恒政

い生命が失なわれました。本書は、いまわしい戦争の惨禍を蒙った町民の記録であり、とくに戦争を知らない世代のみなさまには是非御一読して戴き、再びこのような悲惨な戦争を繰り返さないための心の礎にしていきたいと思ひます。

『西原町史』は、本巻の発行に引き続き、今後も第四巻第五巻、第六巻、通史編と順

次発売する予定になっております。今後とも、町民みなさまを始め多くの皆様の御理解と多大な御協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、西原町史編纂委員会や関係各機関をはじめ、沖縄戦の概要について御執筆していただきました琉球大学の大田昌秀教授及び戦争体験手記の御寄稿、戦争体験の証言や戦災調査に御協力を賜りました関係者各位に深く感謝申し上げ、発売のことばといたします。

与那嶺五月（ブラジル）が表敬訪問

新垣マリオ（青年）が表敬訪問

ブラジルの二青年、新垣マリオさん（26才）と与那嶺五月さん（24歳）が、両親の故郷、沖縄に訪れ、八月十日、町役場を表敬訪問した。

新垣・与那嶺両青年は、ブラジルサンパウロの市内のサッカーチームで活躍中で、

今回、東京都をはじめ静岡、埼玉県などで七試合を消化し室内サッカーの普及と指導を終えた後、両親の故郷である本町を訪れたもの。

表敬訪問に対し平安恒政町長は、「室内サッカーという新しいスポーツの普及のため頑張っていることに大変ほこりを持っています。機会があれば故郷の子どもの指導をお願いしたい」と記念品を贈り激励した。なお、新垣さんの父は字翁長出身、与那嶺さんの父は字我謝出身。



ブラジル青年2名が本町を表敬訪問
：8月10日、町役場前にて

と大変ほこりを持っています。機会があれば故郷の子どもの指導をお願いしたい」と記念品を贈り激励した。なお、新垣さんの父は字翁長出身、与那嶺さんの父は字我謝出身。

西原町立
西原東中学校

来年四月開校目指し着工 中学校の過密化解消を図る

昭和六十三年四月開校を目指す、西原町立西原東中学校の校舎、体育館の建設工事が本格的にスタートする。

八月二十一日(金)午後二時半より、造成工事の完了した西原東中学校建設用地において、平安恒政町長、親泊輝武町議会議長、稲福恭助教育



西原東中学校起工式であいさつする
平安町長＝8月21日、同校建設現場

長はじめ、工事関係者約百人が出席し、工事の安全祈願祭及び起工式が挙行された。

本町では、急激な人口増加に伴い、現在の西原中学校の生徒数も千三百人を越え、マンモス化の状況にあり、町民より過密化解消のための新設中学校の建設が待ち望まれていた。

起工式では、平安町長、稲福教育長のあいさつが行われ「西原中学校の過密化を解消し、二十一世紀に向けた素晴らしい教育施設を建設し、文教のまちづくりの一層の充実を図りたい。工事期間の安全とつばな学校建設をお願いします。」とあいさつ。

西原東中学校の用地面積は二万七千八百七平方メートル、総工費九億四千五百六十万円。

施設面積は、校舎棟五千八百九十六平方メートル、体育館千四百四十平方メートル(柔剣道場三百五十八平方メートル)、クラブハウス二百平方メートル。

なお、工事施工者は、次のとおり。

金秀鉄工(株)・(有)明生建設
三善建設(株)・(株)屋比久建設
(有)東洋建設・(有)桃原建設
小川電気工業・大倉電気工業
丸新電気工事社・大浜電設
崎原電気・塩川電気
(有)建設工業・(株)広宣建設
(有)建設工業・(有)大成設備工業
広栄水道・新川設備工業



県知事賞を受賞し喜びの屋良さん
＝8月27日、自宅にて

屋良富子さん県知事賞 「健康で楽しい農業」を発表

八月十九日、那覇東町会館で開かれた「昭和六十二年度農業と生活の集い」で、上原やよい生改グループの屋良富子さん(字上原251番地)が見

事、県知事賞を獲得。

この集いは、県農水部、県生改実行グループ連絡研、県土づくり運動推進協共催により、土づくり優良農家事例、生活改善実績発表が行われ、県内から十人の事例、実績発表が行われた。

屋良さんは、「健康で楽しい農業を後継者に託して」と題し、昭和五十三年以来、野菜からキクに作目を導入し、ほ場整備、土づくりなど大きく改善した農業経営の経過と現状を報告するとともに、後

みんなで交通安全を 全島縦断キヤラバン隊受入式

「みんなですすめる交通安全」をスローガンに県交通安全母の会連絡協議会(赤嶺千壽会長)による第七回沖縄本島縦断キヤラバン隊の受入れ式が、八月十七日午後三時より町中央公民館で開かれた。



交通安全キヤラバン隊受入式のもよう
＝8月17日、町中央公民館

会連合会が派遣する全国キヤラバン隊を受け入れて行われたもので、町交通安全母の会玉那覇恭子会長はじめ、浦添地区交通安全協会、西原町、浦添警察署、町民二百余人が参加。受入れ式では、来賓あいさつとして、小川良夫町助役

(町長代理)、中島健浦添警察署長、小波津健浦添地区交通安全協会副会長あいさつの後、赤嶺県交母の会々長より小川町助役へ「交通安全対策推進の総務庁長官からのメッセージ」が伝達された。また、玉那覇町交母の会々長による交通安全推進に向けての高らかな決意表明も行われた。

西原東中学校校舎建築工事請負契約など可決 第6回町議会臨時会

昭和六十二年第六回町議会臨時会が八月十八日に開かれ六件の議案と一件の決議が上程された。原案通り可決された。

今回、可決された議案は、①町立西原東中学校校舎新築工事

(A工区建築工事) 請負契約締結について②同(A工区電気設備) 請負契約締結について③同(B工区建築工事) 請負契約締結について④同(B工区電気設備) 請負契約締結について⑤同(B工区電気設備) 請負契約締結について⑥同(B工区電気設備) 請負契約締結について⑦同(B工区電気設備) 請負契約締結について⑧同(B工区電気設備) 請負契約締結について⑨同(B工区電気設備) 請負契約締結について⑩同(B工区電気設備) 請負契約締結について⑪同(B工区電気設備) 請負契約締結について⑫同(B工区電気設備) 請負契約締結について⑬同(B工区電気設備) 請負契約締結について⑭同(B工区電気設備) 請負契約締結について⑮同(B工区電気設備) 請負契約締結について⑯同(B工区電気設備) 請負契約締結について⑰同(B工区電気設備) 請負契約締結について⑱同(B工区電気設備) 請負契約締結について⑲同(B工区電気設備) 請負契約締結について⑳同(B工区電気設備) 請負契約締結について㉑同(B工区電気設備) 請負契約締結について㉒同(B工区電気設備) 請負契約締結について㉓同(B工区電気設備) 請負契約締結について㉔同(B工区電気設備) 請負契約締結について㉕同(B工区電気設備) 請負契約締結について㉖同(B工区電気設備) 請負契約締結について㉗同(B工区電気設備) 請負契約締結について㉘同(B工区電気設備) 請負契約締結について㉙同(B工区電気設備) 請負契約締結について㉚同(B工区電気設備) 請負契約締結について㉛同(B工区電気設備) 請負契約締結について㉜同(B工区電気設備) 請負契約締結について㉝同(B工区電気設備) 請負契約締結について㉞同(B工区電気設備) 請負契約締結について㉟同(B工区電気設備) 請負契約締結について㊱同(B工区電気設備) 請負契約締結について㊲同(B工区電気設備) 請負契約締結について㊳同(B工区電気設備) 請負契約締結について㊴同(B工区電気設備) 請負契約締結について㊵同(B工区電気設備) 請負契約締結について㊶同(B工区電気設備) 請負契約締結について㊷同(B工区電気設備) 請負契約締結について㊸同(B工区電気設備) 請負契約締結について㊹同(B工区電気設備) 請負契約締結について㊺同(B工区電気設備) 請負契約締結について㊻同(B工区電気設備) 請負契約締結について㊼同(B工区電気設備) 請負契約締結について㊽同(B工区電気設備) 請負契約締結について㊾同(B工区電気設備) 請負契約締結について㊿同(B工区電気設備) 請負契約締結について

西原中なぎなた全国制覇 男子バレー九州を制し全国大会へ

西原中学校(津嘉山寛喜校長)の男子バレーボール部が九州制覇、なぎなた部が全国制覇、九州陸上競技大会においては男子棒高飛びの安里幸広君(三年生)が上位入賞を果たした。



西原中学校PTA(前里光信)の男子バレーボール部が九州制覇、なぎなた部が全国制覇、九州陸上競技大会においては男子棒高飛びの安里幸広君(三年生)が上位入賞を果たした。

西原中学校では、バレーボール、なぎなたの部において全国的にも、名声をあげており、特に、男子バレーボールについては、全国制覇達成のため、夏休みを返上しての猛練習に励んでいる。

男子バレー九州制覇、なぎなた全国制覇、九州陸上競技大会においては男子棒高飛びの安里幸広君(三年生)が上位入賞を果たした。

国体成功と福祉事業へ100万円 沖東交通、東江社長より

有限会社沖東交通(東江優社長)では、八月三日午前、町役場を訪れ、「町民の福祉事業と国体成功のため役立てて下さい。」と、平安恒政町長(第42回国民体育大会実行委員会々々長)に百万円の寄付を行った。



沖東交通東江社長より100万円の寄付＝8月3日、町役場にて

平安町長は、贈呈式において、「町内の恵まれない方々の福祉と、本町での国体成功に向けて、有意義に活用させていただきます。」とお礼を述べた。

映画「風が吹くとき」上映会

9月20日(日)三回上映!

87'国際アニメ映画祭グランプリ受賞の映画「風が吹くとき」が、町教育委員会主催、西原町、町老人クラブ、町婦人会、町P連、町社協、町子連、町青少年協の協賛により、九月二十日、午前十時、午後三時と七時の三回、町中央公民館で上映される。

この映画は、核戦争の危機を身近に感じているヨーロッパにおいて高い関心を受け、各国で大ヒットを続け、今、静かなムードが高まりつつある映画です。

入場料(前売)大人七百円 小人四百円で販売中。

詳しいことは、町教育委員会(町中央公民館)まで

町中央公民館 五三三六五七



風が吹いたら、揺りかごゆれる。枝が折れたら、揺りかごが落ちる。 坊やも揺りかごもみな落ちる。

「チャリイティ芸能の夕べ」開催

五周年記念と国体資金造成

町商工会婦人部

町商工会婦人部(我謝豊子部長)では、八月二十二日(土)午後七時より、町中央公民館ホールにおいて、「チャリイティ素人芸能の夕べ」を開催した。



町商工会婦人部のチャリイティ芸能の夕べ=8月22日町中央公民館

今回のチャリイティ素人芸能の夕べは、結成五周年記念事業並びに本町で開催される海邦国体成年男子バスケットボール競技大会を成功させるための資金造成を目的としたもので、町婦人会、町老人クラブ、町内琉舞研究所などの応援出演などもあり、会場には町民三百人余が詰めかけ賑わった。

親子で自然観察、標本づくり

町学推協七区支部



自然観察で親子の対話深める学推協七区支部=8月13日、呉屋モ一

町学推協七区支部(大城盛孝支部長)では、八月十三日午前九時から、町内の植物群落の親子野外観察会を実施した。これは親子で植物の世界を学び、自然を大切にする心を養い、植物観察と標本の作り方を学びながら対話を深めようと計画したもの。

野外観察には、親子づれで約五十人が参加、仲田栄二先生(沖国大特別研究員)による自然界における説明を受けながら、兼久海岸や呉屋モ一などにおける植物観察と標本のつくり方などを親子で熱心に学び、楽しい夏休みのひとときを過ごした。



地域福祉の充実と生活向上を

町社協第一回福祉バザー

町社会福祉協議会(宮平吉太郎会長)主催、第一回福祉バザーが、八月九日(日)、午前十時より町中央公民館において開催された。

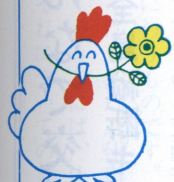
これは、社会福祉の意識高揚と地域福祉の充実をめざし、住み良い明るい福祉のまちづくりを実現しようといわれた。



町民多数で賑った第1回福祉バザー=8月9日、町中央公民館にて

バザーには、町内事業所をはじめ、各行政区よりの協力により出品物二〇〇〇点余が集まり、市価の半額以下で販売され、あつという間に完売される盛況ぶり。

福祉のまちづくりに向けての町民の意識の高さを反映。ちなみに、今回の福祉バザーの売り上げ金は、三十九万七千八百円余。



国体盛り上げと健康体力づくり

第二回町職域バスケットボール大会



7チーム参加した第2回町職域バスケット大会=8月23日、町民体育館

第42回国民体育大会町実行委員会(平安恒政会長)、町教育委員会(稲福恭助教育長)主催、第二回西原町職域バスケットボール選手権大会が、八月二十三日(日)午前九時より、町民体育館において開催された。

この大会は、本町における海邦国体成年男子バスケットボール競技大会開催に向けて、本町での国体ムードの一層の盛り上げと、町民の健康体力づくり推進を図ることを目的に開催されたもの。

大会には、町内七チームの職域チームが参加、熱戦の末町体育協会チームが優勝。

なお、今回は、海邦国体の競技審判及びT・O(ティール・オフィシャル)のリハサルも兼ねて実施された。

リーダー養成、指導者交流図る

町スポーツ少年団本部



リーダー養成で町スポーツ少年団が研修=8月1日、誌谷村にて

町スポーツ少年団本部(宮里芳男本部長)では、八月一日より二日までの日程により、誌谷村(この村)において、昭和六十二年度町スポーツ少年団リーダー研修会を行った。

これは、各少年団のリーダー及び指導者の交流活動を促進し、地域における団活動の核となるリーダーの資質の向上を図る目的で開かれ、八団体から約五十人が参加した。

町青少年女合唱団、石垣大会へ

夏休みに貴重な体験

町青少年女合唱団(入里叶男団長)では、八月二十一日石垣市民会館で行われた沖縄県青少年合唱連盟第12回合唱祭石垣大会に参加した。

これは、石垣市民会館落成を祝い石垣青少年女合唱団の要請によるもので、町合唱団にとっては、結成以来初めてのことであり、団員五十五名、後援会(岡田史明会長)より十五名、計七十名が参加。

石垣大会には、県内市町村をはじめ宮古、八重山など十団体が出演、日頃の練習成果を発表するとともに、合唱団相互の交流を深め、夏休み期間に楽しい思い出を残した。

西原五種目制覇

軟式バレー 初優勝

去る八月十五日、十六日の両日、第十五回中頭郡夏季大会が開催され、本町より十二種目に選手団が派遣され五種目の優勝、二種目の準優勝の成績を納め関係者に喜ばれている。

なお、男子バレーボール、軟式庭球においては、初めての優勝。以下、次の通り、

▽優勝種目

男子バスケットボール(三連勝)、男子バレーボール(初優勝)、軟式庭球(初優勝)、卓球(五連勝)、剣道(二連勝)

▽準優勝種目

女子バレーボール、相撲